

第5学年 国語科学習指導案

相視研 番組活用部会

1. 日時 平成25年11月15日（金）5校時
2. 場所 第5年1組教室
3. 学年・組 第5学年1組（35名）
4. 単元名 和語・漢語・外来語
5. 単元目標 ◎和語・漢語・外来語の由来を理解することができる。
6. 単元について

（1）児童の実態

本学級の児童は、様々な教科でテレビ番組を見て、考えを深めたり広げたりしている。テレビをつけると全員の視線もテレビに向き、理解をしようとする姿勢が多く見られる。国語では、言語活動を豊かにするために必要なコミュニケーションスキルを身につけるために「お伝と伝じろ」の視聴をしている。

国語の学習では、毎回、漢字のフラッシュカードで漢字の読み方の学習をしている。その際に、音読み、訓読みの確認をしている。5年生になり、調べ学習で本を読んだりインターネットで調べたりする機会が多くなり、身の回りのさまざまな言葉にも関心をもつようになってきた。分からない言葉は、辞書を引いて調べる児童もいる。

（2）教材について

本単元は、**学習指導要領第5学年及び第6学年の〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕**「イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 言葉の働きや特徴に関する事項 語句に関する事項（エ）語句の構成、変化などについての理解を深め、また語句の由来などに関心をもつこと。」を受けて設定されたものである。

日本語は、日本で古来から利用されてきた和語と、古代以来中国から伝わり、日本語の中に取り入れられてきたり、中国語からの借用語を元に日本で独自に作られた漢字で表記されたりした漢語、中国以外の国から伝わり日本語として借用している外来語からなっている。私たちは日常生活の中で、知らず知らずのうちにそれらを使い分けて取り入れている。日本語が、日本独自の言葉だけでできているのではなく、和語、漢語、外来語に区別され、様々な国の言葉を取り入れ、成り立っていることを学ぶことにより、日本語への関心や、諸外国との関わりについて、興味をもって考えることができると思われる。また、和語、漢語、外来語の特徴について学ぶことにより、必要に応じて使い分けて表現することの大切さにも気付かせていきたいと考える。

（3）番組について

今回の学習では、「分かる国語 読み書きのツボ」を視聴する。番組を通して、国語の基本となる「読むこと」と「書くこと」を、文法と関連させながら明快に解き明かし、実際の文章の読み書きに役立つ実践的な方法を学ぶことができる。部分視聴をしながら、考えを深めたり、広げたりしていきたい。

7. 単元の評価規準

◎和語・漢語・外来語の由来を知り、言葉の種類や使い分けに興味をもっている。

（関心・意欲・態度）

○和語・漢語・外来語の区分けや使い分けを確かめながら、読んだり書いたりしている。

（言語）

8. 単元計画 (全2時間)

時	学習活動	教師の支援と指導上の留意点	評価
1	<p>○「読み書きのツボ」を視聴し、和語・漢語の由来について理解する。</p> <p>○和語・漢語の使われ方について考える。</p>	<p>○「読み書きのツボ」を部分視聴し、理解を深められるようにする。</p>	<p>○和語・漢語の由来を知り、印象の違いについて自分の考えをもっている。</p>
2	<p>○身の回りにある外来語について、もとはどの国の言葉だったのか調べる。</p> <p>○分かったことや、気づいたことを話し合う。</p>	<p>○身の回りにある外来語を考えさせる。</p> <p>○図書室やパソコン室で自分なりに由来を調べさせる。</p>	<p>○外来語の言葉の由来に関心をもち、調べようとしている。</p> <p>○使い分けを確かめながら、読んだり書いたりしている。</p>

9. 本時の学習

(1) 本時の目標 (1/2)

○和語と漢語の使い方や語感について関心をもち、和語・漢語のそれぞれの役割に気づき、「感じの違い」について自分の考えを持つことができる。

(2) 本時の展開

過程	○子どもの活動 児童の反応 <input type="checkbox"/>	教師の指導 (◎) 支援 (・) 評価 (□)
つかむ	<p>○漢字のフラッシュカード10問を解く。</p> <p>○「読み書きのツボ」を部分視聴する。</p> <p>○絵に描かれている状況を一文でノートに書く。</p>  <p>山田くんは、休みの日に劇を見ました。 山田くんは、休みにミュージカルに行きました。</p> <p>○うしくんと光浦さんの文を比べて気づいたことを話し合う。</p> <p>うしくんの文は、やわらかいけど、光浦さんの文はかたい感じがする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>うしくんの作文 山田くんは、休みの日に友だちとおしばいを見に行きました。</p> <p>光浦さんの作文 山田くんは、休日に友人と観劇に行きました。</p> </div>	<p>◎音読み・訓読みを確認する。</p> <p>視聴開始～1:30 (1分30秒) (絵の紹介まで)</p> <p>◎絵を見てどんな状況なのか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えが思い浮かばない児童には、誰がいつ何をしているのか、言葉カードで示すようにする。 ・何人かにどんな文を書いたのかたずねる。 <p>1:30～2:55 (1分25秒) (うしくんと光浦さんの文の紹介まで)</p> <p>◎二つの文章を比べて、気づいたことを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・似ている言葉に着目させる。 ・印象の違いも考えさせるように声かけをする。

<p>考える</p>	<p>○和語・漢語の由来を確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p>3:02～4:30 (1分28秒)</p> <p>(二つの文章を比べ、和語・漢語の紹介まで)</p> <p>◎訓読み・音読みどちらが和語・漢語なのか確認をさせる。</p> <p>◎二つの文、どちらが和語と漢語なのか考えさせる</p>
	<p>和語と漢語の印象の違いについて自分の考えを友だちに伝えよう</p>	<p>4:30～5:27 (57秒)</p> <p>(二つの文の違いと駐車禁止・感謝していませんの紹介まで)</p> <p>◎どんな印象の違いがあるのか自分の考えをノートに書かせる。</p> <p>□和語・漢語の印象の違いについて自分の考えをもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えが浮かばない児童には、どんな時にその言葉を使うかを考えさせる。 <p>◎自分の考えをもとに、グループで話し合わせる。</p> <p>◎和語と漢語の特徴を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班で話し合った印象の違いから考えさせるように声かけをする。
<p>○「駐車禁止」「車を止めないでください」「感謝しています」「ありがとうございます」を比べて印象の違いをグループで話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>◎駐車禁止!</p> <p>◎車を止めないでください!</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>◎感謝しています。</p> <p>◎ありがとうございます。</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「感謝しています」は、年上の人に言うときに使う感じがする。 ・ありがとうございますは、やさしい感じがする。 </div> <p>○和語と漢語の特徴について考える。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・和語は、気持ちが伝わる、やわらかい ・漢語は、かたくるしい、ポスターや強めに言いたいときに使える </div> <p>○次時の学習の確認をする。</p>	<p>5:27～8:45 (3分18秒)</p> <p>(街の人の印象の違いまで)</p> <p>◎次回は、身の回りにある文章から和語や漢語の意味を考えることを伝える。</p>	